

農作業コツのコツ

【第4号】
令和6年5月4日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

田植え時の重要3ポイント

①品種に応じた植付株数
②植付深さ3cm
③基肥の適正施用

田植作業時に気温の高い日が続きます。熱中症に気を付けて作業しましょう！

暑い日が続いており、徒長した苗が散見されます。育苗ハウス内が暑くなりすぎないように**換気を徹底**しましょう。

今年は早生品種(特にとみちから)で出芽ムラが目立ちます。出芽ムラが大きい苗はかきとり量を増やし**欠株を防止**しましょう。

また、苗が足りなくなる場合は植付株数を減らし**栽培面積を確保**しましょう。

田植え後は**きめ細やかな水管理**を徹底し、初期分けつの発生を促しましょう。

また、適切な除草剤使用により、除草効果を高めましょう。

水稻・移植

1 田植え後の水管理

(1)田植え時～活着 (田植後3～5日程度)

苗が水没しない程度の**やや深水**(5cm程度)で植傷みを軽減しましょう。密苗は慣行苗より軟弱なため、浅水としましょう。

(2)活着後

浅水管理(2～3cm)で田水温を高めて、分けつの発生を促しましょう。

※ただし、強風や低温時には深水にし、天候回復後はすみやかに浅水管理にしましょう。

(3)田んぼがわいたり、藻が発生した場合

晴れた日に1～2日程度、落水して**軽い田干し**を行い、水を入れ替えましょう。

*R5年は収穫後に発生した「ひこぼえ」が大きくなったほ場が多く、秋起こしをしていないほ場では特に注意してください。

2 除草剤の使用

- ・使用基準、使用上の注意を守り、遅れずに除草剤を散布しましょう。
- ・ジャンボ剤や豆つぶ剤の散布時は水深8cm程度を確保しましょう。
- ・除草効果を高めるため、散布後5日間は**湛水状態(水深5cm程度)**を保ち、田面を露出させないように、水が足りなくなったらゆっくりと差し水をしましょう。
- ・成分が水田外へ流出しないよう、散布後7日間はかけ流しや落水はやめましょう。

○田植え後の水管理・除草剤散布の例

除草剤	体系是正剤																																
水位のイメージ	5cm程度					5cm程度													3cm程度					3cm程度								溝切り	中干し
田植後日数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
水管理	やや深水					田干し 水入替			やや深水					浅水					田干し 水入替			浅水・自然落											

除草剤	初期剤もしくは体系是正剤																																
水位のイメージ	5cm程度					5cm程度													3cm程度					3cm程度								溝切り	中干し
田植後日数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
水管理	やや深水					浅水			田干し 水入替			やや深水					浅水					田干し 水入替			浅水・自然落水								
	田植同時以降、体系是正剤を使用しない場合は浅水管理(3cm)																																

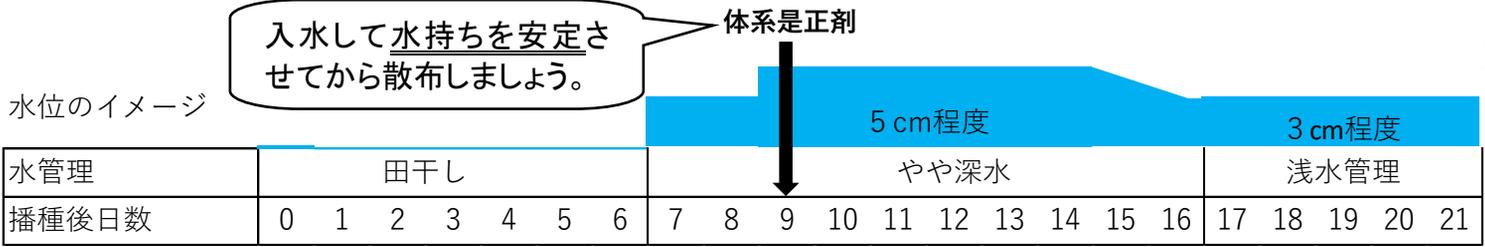
※詳しくは「営農とくらし」のP34～35、58～59、62～63を参照してください。

水稻・直播

1 播種後の水管理・除草剤の使用

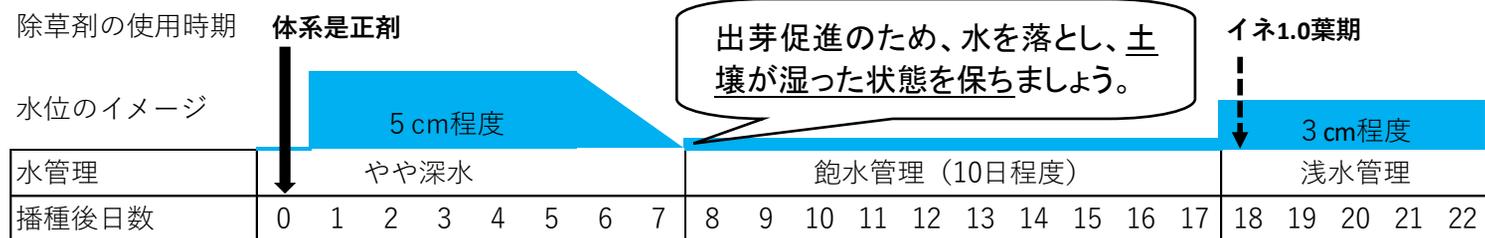
(1)カルパーコーティング

- ・田干し後の播種後7日～10日頃（イネ1.0葉期）に湛水状態で除草剤を散布しましょう。
- ・その後は**浅水管理**（2～3cm程度）で田水温を高め、分けつの発生を促しましょう。



(2)鉄コーティング

- ・イネ1.0葉期まで**飽水管理**を行い、根をしっかりと張らせ、転び苗の発生を防ぎましょう。
- ・イネ1.0葉期以降は**浅水管理**としましょう。
- ・残草がある場合は、雑草の種類とイネの葉齢を確認し、除草剤を散布しましょう。



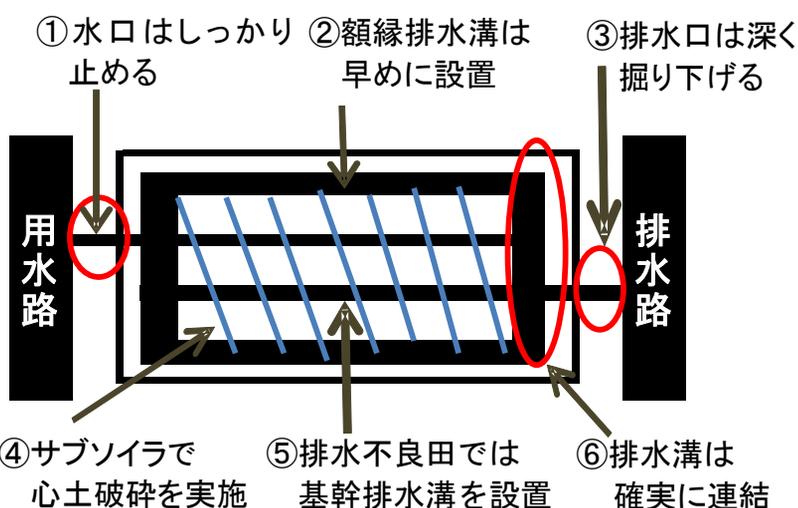
※上図は目安です。イネの生育状況に応じた水管理と除草剤散布を行いましょ。除草剤については「営農とくらし」のP60～61、P63を参照してください。

大豆

大豆は、ほ場が乾いた状態で播種することが非常に重要です。額縁排水溝の設置等を実施していないほ場は直ちに行いましょう。

1 播種前の排水対策

- ・額縁排水溝を早めに設置して、播種前の土壌を乾かしておきましょう。
- ・透水性の悪いほ場は、ほ場内に**基幹排水溝**を設置したり、サブソイラによる**心土破碎**を施工し、排水性の向上に努めましょう。



2 土づくり

- ・耕起前に必ず苦土石灰を散布し、pH6.0～6.5に酸度矯正しましょう。
- ・地力向上のため、醗酵けいふん等の有機物を積極的に施用しましょう。

表 土づくり資材の施用の目安

	10a当たりの施用量
苦土石灰	100～200kg
醗酵けいふん	100～150kg
牛ふん堆肥	2m ³ (1t)